

緑



白

〈学級園の近くに早くも咲いていた水仙の花〉

貝塚市立二色小学校 校長室だより第69号
 H25年2月7日発行 貝塚市二色1-3-1
 Tel 072-438-2925 Fax 438-2926

☆節分でどんな鬼を追い払いましたか？・・・風邪の鬼・寒がりの鬼・好き嫌いの鬼・朝寝坊の鬼・
 食べ過ぎの鬼・持ち物忘れの鬼・めんどくさがり屋の鬼・人に文句ばかり言う鬼・・・「鬼は外！」

♪春～は名のみ～の風の寒さや～♪

節分がすみ、立春を迎えました。暦(こよみ)の上では、春です。去年はこの時期、インフルエンザによる学級閉鎖がありました。今年は今のところ本校では、あまり流行していません。

中学校の音楽の共通教材として載っている『早春賦』を拾ってみました。

		三、		二、		一、		早春賦(早春の歌)
作曲	作詞	春と聞かねば	知らでありしを	氷解け去り	葦は角ぐむ	春は名のみ	風の寒さや	
中田	吉丸	聞けばせがる	胸の思いを	さては時ぞと	思ふあやこく	谷のうぐす	歌は思えど	
薫	一昌	いかにせよこの	この頃か	今日もきのうも	雪の空	時にあらずと	声も立てず	

「暦の上では春だというのが、風はまだ冷たい。ウグイスもいい声で鳴きたいと思っているだろうが、こんなに風が冷たいなら春はまだまだ先だと思って、鳴かないだろうな・・・氷はとけていき、葦(あし)の新芽が出始めた。いよいよ春か！と思ってみたが、あいにく今日も昨日もまだまだ雪が降りそうな寒い空だなあ・・・春だと言わなければまだわからないのに。春だと聞くと、早く早く春が来てほしいと急かされるような気持ちだ。」というような中身の歌です。

この時期になるとこの歌を歌ってしまいます。2番3番はよく知らなかったので歌えませんでした。美しいメロディーと共に早春の情景が浮かびます。作曲したのは、「夏の思い出」を作曲した中田喜直氏のお父さんだそうです。

保護者の方々はいかがですか？中学校で習いましたか？今は国語の中でも、文語表現による短歌・俳句などが出てきますが、はざれ良くリズムのある表現なので子ども達はすぐ覚えてしまうようです。この「早春賦」も歌うだけで目の前に情景の浮かぶ素晴らしい日本の歌だと思います。おばあちゃん・おじいちゃんがおられたら、一緒に歌ってみてはいかがですか？

春はもうすぐやってくる。
用意はいいですか？